

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>角膜移植術の治療効果の画像解析による探索的研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 眼科 (研究責任者) 山上 聡</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 令和 8 (西暦 2026) 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>一般的に、角膜の観察には細隙灯顕微鏡を使用しますが、細胞レベルの撮影は困難でマクロレベルでの観察になります。そこで、生体生検として病態を把握・予測できるツールとして登場したのが生体共焦点顕微鏡です。細胞レベルで観察可能であり、異常所見の局在と形状の把握に優れます。また、非侵襲的に繰り返し検査が可能なることから、治療などの処置前後を検査することにより、治療の効果判定や再発の発見に力を発揮することがあげられます。本研究では、これまでの生体共焦点顕微鏡所見を調査し、今後の治療に役立てることを目的とします。方法は、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを調査します。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>利用させていただくカルテ情報は下記です</p> <p>診断名、年齢、性別、矯正視力、細隙灯顕微鏡による検査所見、検査データ</p>
<p><対象となる方></p> <p>西暦2014年4月1日から西暦2023年2月28日の期間に日本大学医学部附属板橋病院眼科、横浜南共済病院、金沢大学付属病院、東京歯科大学市川総合病院で角膜移植をうけた患者を対象とする。</p> <p>また、以下の方は対象から外させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究への参加を望まない方 ・角膜疾患以外に優先すべき疾患をお持ちの方 ・18歳未満で、保護者の同意がない方
<p><研究の方法></p> <p>電子カルテに記載のあるこれまでの診療記録、検査データを調査します。</p>
<p><外部への試料・情報の提供の方法></p> <p>患者さん等の情報（氏名や ID などの個人情報）は当院外へ提供することはありません。</p>

<研究組織>

共同研究施設及び研究代表者

金沢大学附属病院：小林顕

横浜南共済病院：水木悠喜

きくな湯田眼科：湯田健太郎横浜桜木町眼：林憲吾

東京歯科大学市川総合病院：山口剛史

<お問い合わせ窓口>

(記載例)

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

眼科

氏名：栗田 淳貴